

～「安水稔和さんを語る」会のご案内～ 2023・2・9

各位

早春の気配のする候ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、昨年安水稔和氏の訃報に接し、ここにその多大なる功績を振り返り、「安水稔和を語る」会を立ち上げ、4月15日(土)13時30分～神戸市立中央区文化センター11F(1103)で開催することになりました。お忙しい中とは存じますがご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時: 2023年4月15日(土)13時30分～16時30分 (受付:13時～)

会場: 神戸市立中央区文化センター 11F・1103号室

参加費: 1000円(資料代含む)

申込締切: 2023年3月17日(金) 参加希望者は同封のハガキに切手を貼って申し込む。

*安水稔和氏の詩作品を朗読希望の方(若干名募集)は葉書に記入してお申し込み下さい。(先着順となります)

*安水氏に関する資料(展示用の写真・詩誌等)を提供できる方は葉書にご記入下さいますようお願いいたします。

＜プログラム＞

第1部 (13:30～14:40)

開会挨拶: 兵庫県現代詩協会 時里二郎

スピーチ&トーク: 発起人 3名

詩の朗読: 希望者 5～6名

休憩(書籍・展示品をご覧ください) 10～15分

*(飲料水持込可)

第2部 (15:00～16:30)

スピーチ&トーク: 知人関係者 3名

詩の朗読: 希望者 5～6名

短いラジオドラマ: 大西隆・他

閉会挨拶:

*終了時に集合写真撮ります!



お問合せ先: 実行委員会事務局 山本真弓 〒651-0091 神戸市中央区若菜通 6-4-15-203

TEL&FAX 078-241-3086 メールアドレス yama25mimi@circus.ocn.ne.jp

主催: 「安水稔和さんを語る」会 発起人 (以倉紘平・瀬沢純平・季村敏夫・鈴木漠・たかとう匡子・時里二郎)
実行委員会 (芦田はるみ・岩井八重美・大西隆志・神田さよ・北野和博・玉井洋子・永井ますみ・山本真弓)
兵庫県現代詩協会

～案内図～

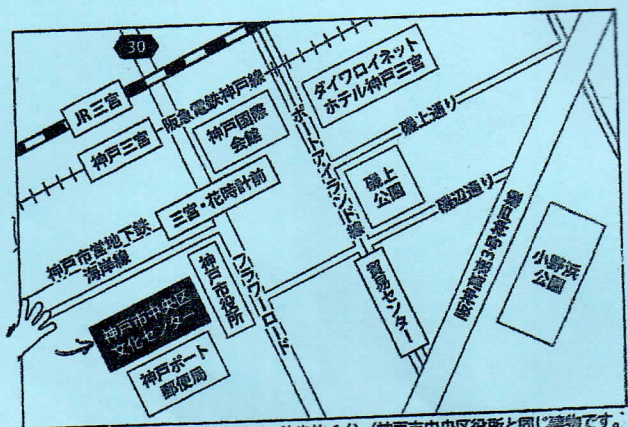
神戸市立中央区文化センター

〒650-0031 徒歩神戸市中央区東町115番地

TEL 078-381-7543

JR三宮駅 阪神・阪急三宮駅から南へ徒歩6分

神戸市役所西向側(中央区役所と同じ建物)



各線三ノ宮駅より、徒歩約6分。(神戸市中央区役所と同じ建物です。)

故・安水稔和氏の詩業を語り偲ぶ集い

安水稔和（やすみずとしかず）1931年9月15日生～2022年8月16日没。
詩人。神戸松蔭女子学院大学元教授。

兵庫県神戸市須磨区生まれ。1950年詩誌「ぼえとろ」を創刊。1954年神戸大学文学部英米文学科卒業。在学中から詩誌に関わり、『歷程』『たうろす』同人。初代兵庫県現代詩協会会長。1963年多田武彦作曲の合唱組曲「京都」で文部省芸術祭奨励賞。1973年ラジオドラマ「旅に病んで」で芸術祭優秀賞受賞。1984年井植文化賞受賞。1989年詩集『記憶めぐり』で第14回地球賞。1990年神戸市文化賞受賞。1996年兵庫県文化賞受賞。1997年『秋山抄』で第6回丸山豊記念現代詩賞。1999年『生きているということ』で第40回晩翠賞。2001年詩集『椿崎や見なんとて』で第16回詩歌文学館賞。2005年詩集『蟹場まで』に至る菅江真澄に関する営為で第43回藤村記念歷程賞受賞。阪神・淡路大震災をテーマにした作品を書き続けた。1985年から2017年まで神戸新聞読者文芸詩欄選者を務めた。



安水稔和さんを語る会

2023年4月15日（土曜日）13時半～16時半

神戸市立中央区文化センター11階 1103号室

参加・1000円（資料代含む）注・開場13時より安水氏の映像等を流す

発起人・時里二郎、たかとう匡子、以倉紘平、季村敏夫、涸沢純平、鈴木漠

主催・「安水稔和さんを語る会」実行委員会／兵庫県現代詩協会

連絡先・「安水稔和を語る会」事務局（山本眞弓方）☎078-241-3086